

## 火災避難訓練実施

2月27日(水)、しおさい春日としおさい三崎で、火災避難訓練を実施しました。

### ■しおさい春日(のぞみと合同)

午前9時30分、湯沸し室から出火したという想定で、職員の“火災発生”の声で全員が中庭へ避難しました。その後、消火器の使い方の説明と実践が行われました。実践に参加した皆さんは“火事だ～！”と大声を発した後、消火器(水が入っている訓練用)のピンを抜いて、ホースを火元に見立てた的に向けて放水しました。



### ■しおさい三崎

午前10時10分、厨房より出火したという想定で、“火災発生”の声により全員が駐車場へ避難しました。その後は、春日と同じ訓練を行いました。



### ◆講評

訓練終了後、消防署員から①銚子から119番通報をすると現在は千葉市の共同指令センターにつながるの、通報した時は住所を“銚子市”から言って下さい。②煙は上に行くので、低い姿勢でハンカチなどで口を押えて避難して下さい。というお話がありました。また、春日とのぞみの合同訓練では、のぞみの鴨理事長が「避難はすばやく出来たと思います。今日は訓練なので玄関から出ましたが、本当の火事の際は、一番近くの出口から出て下さい。」と話されました。

# 銚子こころクリニック

## 堀江先生と石上さん 人命救助で感謝状

しおさい通所者の多く方がお世話になっている銚子こころクリニック。この程、院長の堀江勇一先生と、当法人の副理事長でもある石上るみ子さん(精神保健福祉士=ソーシャルワーカー)が人命救助をしたとして銚子警察署から感謝状が贈呈されました。

記事によると、1月下旬、こころクリニックを受診予定の男性(60歳)が予約時刻になって来ないのを不審に思った石上さんとクリニック職員の2人が自宅を訪問した所、1か月前と比べてげっそりとやせて、歩行が困難な程に衰弱した状態で発見されました。本人に状況を聞いた所、「自分はどうなってもいい、一週間前に姉が亡くなって辛いから帰ってくれ」というので、堀江先生に相談する為、一旦クリニックに戻りました。2人は堀江先生に報告すると共に海匝保健所に知らせました。そして堀江先生が銚子警察署に通報して対応を相談しました。

その後、堀江先生と石上さんが食べ物を持って男性宅へ行くと、すでに警察官が到着していて、「このまま一人にしておいたら生命に危険があるので、救急車に来てもらおう」ということになりました。病院へ搬送された男性は、検査の結果、腰骨を圧迫骨折していて、“要入院”となりました。堀江先生は「診療の一環として当然のことをしただけです。私が偉いわけではなく、クリニックの受付担当者、ソーシャルワーカーをはじめ、海匝保健所の皆さん、そして銚子警察署の皆さんのお陰で男性を救うことが出来ました。今後も患者さんに寄り添って少しでも『様子がおかしい』と思うことがあったら、積極的に働きかけて行きたいと思っています」と語りました。



▲2月27日付けの大衆日報に掲載された記事

### 3月・4月の行事予定

- 3月16日(土).....お茶会・昼食 (受付締め切り)
- 3月21日(木)〈春分の日〉...しおさい見学会【工賃支給】
- 3月30日(土).....お花見(東金市・八鶴湖)
- 4月13日(土).....メンバー交流会(富津市・鋸山)
- 4月27日(土).....第1回しおさい祭り【工賃支給】



- ・地域の方に販売などを通して、しおさいの事業や活動を知っていただく機会をつくる。
- ・お祭りという形態での開催で、地域の方、家族、利用者、職員の交流の場をつくる。

◆行事は事情により中止や変更、延期する場合があります。

#### ～編集後記～

世の中には、資格がなければ出来ない職業があります。その最たるものが、皆さんも日頃お世話になっている医師や看護師、薬剤師ですね。“師”が付く職業としては教師や調理師もそうです。この他に“し”が付く職業として、弁護士・保育士・管理栄養士等の“士”が付く職業、児童福祉司・保護司等の“司”が付く職業がそれに当たります。では“師”“士”“司”はどう使い分けているのでしょうか。調べてみると、使い分けに明確な基準はないそうです。ただ、分類上“師”は「プロとしてある物事を“専門に”行なう者、また、その道の“技芸”にすぐれている者」を指し、“士”は「国家・国民的な高い見地から判断して有用と思われる“資格”を持つ者」を指し、“司”は本来「役所」の意味であり、「その役に責任を持つ者」を指しているとのことでした。当欄では書ききれないこともあるので、興味がわいた方は調べて見て下さい。